

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2770108468		
法人名	社会福祉法人 おおとり福祉会		
事業所名	ほがらか鳳グループホーム		
所在地	大阪府堺市西区鳳東町5丁460番地 (電話) 072-272-0027		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年12月16日(火)	評価確定日	

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	13 人	常勤 6人, 非常勤 8人, 常勤換算	3.1人

(2) 建物概要

建物構造	R C 造り		
	3階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(300,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,600 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名	
要介護1	1	要介護2	3			
要介護3	2	要介護4	0			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	87歳	最低	75歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人喜多クリニック、医療法人成智会石橋歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR鳳駅から徒歩5分、周囲は商店街やスーパー、区役所があり非常に便利な立地条件でした。玄関前には鉢植えを設置し、木製のベンチが置かれ、いつでも休息や団欒が出来るようになっていました。玄関の鍵は閉めずいつも開放されており、出かけた際には職員がそっと付き添われ、それが生活の自然の流れの中で行われていました。室内は狭く感じられましたが、家庭的な雰囲気を大切にされており、職員は私服で対応されており優しく話しかけられ、大切な家族の一員としてお一人お一人を理解しようという気持ちが伝わってきました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>昨年の外部評価での課題について検討され、ご利用者と共に穏やかな生活ができる様に業務改善を行いサービスの質の向上に向けて取り組まれていました。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の課題について、ご利用者の生活を第一とした思いを大切に業務改善を図り前向きに取り組もうとする姿勢が窺えました。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回のペースで開催されており、ホームの取り組みを報告して意見を頂き、運営推進会議を通して地域との交流を促進して行こうと努力されていました。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ご家族の面会も頻繁にあり、その都度ご様子をお知らせしていました。面会の少ないご利用者の家族に対しては電話連絡を毎月一回行い、ご様子を連絡していました。ご家族が来訪時、職員から声かけを行い、ご意見やご要望などを聞かせて頂けるよう努力されていました。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>地域自治会役員の方と連携を取り合い、地域行事に積極的に参加されていました。行事参加の際には役員の方を中心に住民の方々にもホームへの理解、支援を働きかけておられました。外出の時にはクリーン活動でゴミ拾いを行い地域の一員としての活動に取り組まれていました。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に地域社会の一員として生きていき、自己決定出来る様に支援していくことを掲げ、職員は自己研鑽に努め、ご利用者と共に生活を楽しみ、安らぎと自信を持って生活できるように取り組まれていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常時携帯出来る様にしており、仕事前には理念に目を通すことを日課とし、ご利用者の課題を日々の申し送りの中で共有して理念の実現に向けて取り組まれていました		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に積極的に参加されており、外出時にはクリーン活動として、一人一つのゴミを拾うなどの活動を行い地域の一員として取り組まれていました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の自己評価と外部評価の評価項目を検討し、ご利用者と共に穏やかに生活できるよう業務改善を行いサービスの質の向上に向けて、職員の意識付けを徹底出来る様に心がけておられました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回のペースで開催され、メンバーにはご利用者、ご利用者の家族、市役所職員、自治会役員、ホーム職員で構成され、ホームの取り組みを報告して意見を頂いており、会議を通して地域との交流を促進して行こうとされていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者と事業所の実情や空き状況について相談されていました。地域包括支援センター職員とは、入所相談などで連絡・情報のやり取りをされていました。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会が頻繁にありその都度ご様子をお知らせすることによってご家族の安心に繋がっているようであり、また面会の少ないご利用者の家族に対しては電話連絡を月に一回行い、ご様子を連絡していました。金銭管理については、個人の出納帳を作り家族の面会時に確認して頂いていました。</p>		<p>金銭管理について出納帳をご家族の面会時に確認して頂いていますが、確認の署名や捺印についても頂くように改善していきたいと考えておられました。実施されることを期待致します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の来訪時に職員から声かけを行い、ご意見や要望を聞かさせて頂けるよう努力されていました。ご意見箱を設置していますが意見・要望は入っていない様子でした。意見を受けた時には直ちに改善に向けて対応されていました。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>平成20年度の人事異動で常勤職員が全員異動になり、ご利用者の不安解消の為、引継ぎ期間を設けてご利用者と職員の関係保持に努められていました。</p>		<p>日頃から併設のデイサービスや厨房・事務のスタッフと交流の機会を増やして馴染みになる事により、職員の異動時のダメージを軽減出来る様に努めていきたいと考えておられました。今後の取り組みに期待致します。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画は作成されていませんが、月に2回の内部研修の開催、また外部研修へ積極的に参加され、法人全体で研修への参加をバックアップする体制があり、研修費の補助やパワーアップカードを作成し、10回の研修参加で賞品を授与するなど職員の意欲的な取り組みを後押しされていました。		事業計画に基本的な年間の研修計画を作成し計画的に研修を行えるようにしていこうと前向きに考えておられました。実施されることを期待致します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度より西区内のグループホーム連絡会に月一回参加し、堺市全体の連絡会には年二回参加され交流の機会を持ち、情報の共有や研修会を開催されサービスの質の向上に向けた取り組みをされていました。		今後はグループホーム連絡会を通じて、他施設への一日職員体験などを実施して、業務改善へとつなげていきたいと考えておられました。更なる取り組みに期待致します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族の方が安心して入居して頂けるように事前にホームに見学に来て頂き、職員や他の利用者の方と顔を合わす機会を設けておられました。また、ご本人の意思を尊重し、ご本人のペースで生活して頂けるよう配慮されていました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の能力が維持できるよう職員が適度の支援をし、共同で色々なことを行われていました。職員がさりげなく声かけを行い、利用者と一緒に過ごす時間を大切にしている様子がみられ良い関係が作られていると感じました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから汲み取るように努めていました。困難な場合はご家族から情報を得るようにし、ご本人の思いや要望を聴き取りながら実現出来る様に取り組みされていました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員が中心となり、本人・家族・介護職員・看護師・医師等の意見を反映して介護計画を作成していました。また介護計画はご本人またはご家族に説明し署名をされていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は一ヶ月・三ヶ月・半年毎に評価を行っており、またご利用者の体調の変化が生じた場合には、その都度話し合いを行い、見直しを行い新たに介護計画を作成されていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人・ご家族の状況に応じて、通院の支援や、ご家族との外出・外泊などの要望に応えられるように柔軟に対応されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週に一回ずつ医師・歯科医師の往診があり、24時間オンコール体制が整備され健康管理がされていました。またご本人が希望する医療機関に受診が出来るよう対応されていました。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人・ご家族等と話し合いを持たれ事業所の対応について看取りの指針が説明され、出来る限りの対応をしていこうという強い気持ち伝わってきました。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	プライバシーの保護についての研修が行われており職員の意識向上が図られていました。調査中は、ご利用者の誇りやプライバシーを損ねないよう、優しくさりげない言葉掛けが行われており、大切にされている思いが伝わってきました。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	ご希望があればいつでも散歩や買い物に出かけるなど、ひとりひとりの状態や思いに配慮された対応がなされ、また夕食後に入浴したい方や毎日入浴したい方に対してもそれぞれの希望に沿った支援がされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど、ご利用者が出来る事を声かけして一緒に行えるように支援されていました。また個別に食べたい物を聞き取り、食事が楽しみになるよう利用者のご希望をメニューに取り入れれたりしていました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の状況で時間帯を決めるのではなく、ご利用者ひとりひとりのご希望に沿った支援がされており、また併設のデイサービスにあるヒノキ風呂を利用するなど入浴を楽しむ工夫がされていました。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り・園芸・手芸など個々の出来る事、興味のある事を把握し支援されていました。また昨年度は日帰り旅行で温泉に行かれており、今年度も楽しみや喜びを分かち合えるような旅行を計画していこうと検討中でした。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くにスーパー・商店街があり、買い物や散歩を毎日の日課とされており、また外食に出かけたり地域の行事にも積極的に参加されていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵は閉めておらず、センサーチャイムにより人の出入りを確認されていました。一人で出かけようとする方に対してさりげなく付き添い安全面に配慮しながら自由な暮らしが出来る様に支援されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回消防署の立会いのもと避難訓練を実施していました。また地域の避難訓練にも参加し地域の協力体制を築こうと取り組まれていました。災害に備えた備品はホームにはスペースがない為、法人本部でアルファ米の備蓄がされておりましたが、夜間の避難誘導に不安が残る様子でした。		法人の災害マニュアルをホームに沿ったマニュアルに作り直していこうと考えておられ、またホームでも備蓄できるものを考え備えていこうとされていました。昼夜を問わず地域の方の協力を得ながら避難できる方法を検討される事を期待致します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ひとりひとりの食事や水分量を日誌に記録し職員が情報を共有していました。献立については、ご利用者の意見や希望を伺いながら管理栄養士の協力を得て献立を立てていました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	柿のオブジェを居室の入口に飾るなど季節感のあるものを入居者と共に考え手作りされ、家庭的な雰囲気になるように工夫されていました。光を和らげるカーテンやエアコンで温度調節がされており心地よく過ごせるよう配慮されていました。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の使い慣れた家具が置かれ、写真やご自分の作品などを飾り付けされていました。また仏壇を置いている方もおられ、ご本人が落ち着いて過ごせるよう配慮がされました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。